

電話をかける／受ける


直接ダイヤルして電話をかける方法や、かかってきた電話の受けかた、着信中／通話中にできることを説明します（本機では、「TVコール」は利用できません）。

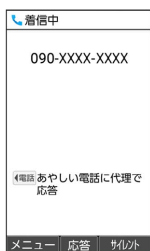
VoLTEへの対応について


本機は、VoLTEおよびHD Voiceに対応しており、より高品質な音声通話を行うことができます。詳しくは、「VoLTEを利用する」、「HD Voiceを利用する」を参照してください。

電話を受ける


1

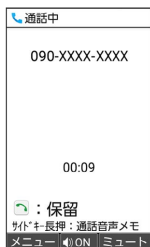
電話がかかってきたら、 / **OK**（応答）



 通話ができます。






2

通話を終わるときは、




 通話が終了します。



着信などのお知らせについて

本機は、着信があると背面画面上の（お知らせランプ）やが緑で点滅してお知らせします。点滅中にを押すと、電話を受けることができます。また、不在着信や着信のお知らせがあるときには、が緑で点滅します。点滅中にを押すと、発信／着信履歴一覧画面が表示されます。

+ 電話着信時の操作

かかってきた電話を保留にする

着信中に 

- ・保留中は相手に通話料がかかります。
- ・保留中に電話を受けるときは、 / **OK**（応答）を押します。
- ・保留中に電話を切るときは、を押します。
- ・着信中に **辞書**（メニュー） → **応答保留** と操作しても保留にできます。

着信音やバイブレータ、お知らせランプの動作を止める



着信中に （サイレント）

着信を拒否してSMSのメッセージを送信する

着信中に **辞書**（メニュー） → **クイック返信** → メッセージを選択 → **OK**

簡易留守録で応答する

着信中に **辞書**（メニュー） → **簡易留守録**

- ・簡易留守録再生／録音中に電話を受けるときは、 / **OK**（応答）を押します。
- ・簡易留守録録音中に （受話ON／受話OFF）を押すと、録音中の内容を受話口から流すかどうかを切り替えられます。

電話を拒否する

着信中に **辞書**（メニュー） → **着信拒否**

電話を転送する

着信中に **辞書**（メニュー） → **着信転送**

- ・あらかじめ転送先を設定しておいてください。詳しくは、「転送電話サービスを利用する」を参照してください。

電話をかける

1

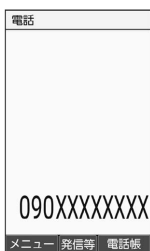
電話番号をダイヤル



☑️ 電話番号が表示されます（ダイヤル画面）。

- ・一般電話にかけるときは、市外局番から入力してください。
- ・入力を間違えたときは、**戻る**を押して番号を消去し、正しい番号を入力し直してください。

2

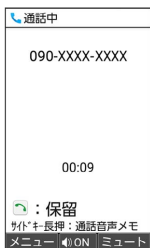


☑️ 発信されます。

- ・相手が電話を受けると、通話できます。
- ・**OK**（発信等） → **発信** と操作しても、電話をかけられます。

3

通話を終わるときは、



☑️ 通話が終了します。

📢 緊急通報について

緊急通報位置通知について

緊急通報を行うと、お客様が発信した際の位置情報を緊急通報受理機関（警察など）へ通知します。このシステムを「緊急通報位置通知」といい、受信している基地局測位情報を元に算出した位置情報を通知します。

- ・お申し込み料金、通信料は一切かかりません。
- ・お客様の発信場所や電波の受信状況によっては、正確な位置が通知されないことがあります。必ず口頭で、緊急通報受理機関へお客様の発信場所や目的をお伝えください。
- ・「184」を付けて発信するなど、発信者番号を非通知にして緊急通報を行ったときは、位置情報は通知されません。ただし、人命などに差し迫った危険があると判断したときは、緊急通報受理機関がお客様の位置情報を取得することがあります。
- ・国際ローミングを使用しているときは、位置情報は通知されません。

着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信したとき

緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に解除されます。緊急通報後、次の操作で解除された着信拒否設定を元に戻すことができます。

OK → **電話機能** → **通話設定** → **着信拒否** → **着信拒否設定を元に戻す** → **はい**

+ 電話発信時の操作

電話帳を表示する

ダイヤル画面で （電話帳）

ダイヤルした電話番号を電話帳に登録する

電話番号をダイヤル → **辞書**（メニュー） → **電話帳に登録** → **新規** / **追加**

☑️ 連絡先登録画面が表示されます。

- ・**追加** と操作したときは、電話帳から連絡先を選択します。

履歴を参照する

ダイヤル画面で **辞書**（メニュー） → **履歴参照**

- ・**電話** / **メール** を押すと、発信／着信履歴を切り替えられます。

ダイヤルした電話番号を宛先に入力した状態でSMS作成画面を表示する

電話番号をダイヤル → **OK**（発信等） → **SMS作成**

☑️ SMS作成画面が表示されます。

- ・電話番号をダイヤル → **辞書**（メニュー） → **SMS作成** と操作しても表示できます。

? こんなときは

Q. 電話がかかけられない

- A. 画面のロックが設定されていませんか。このときは、画面のロックを解除してください。
- A. 機内モードが設定されていませんか。このときは、機内モードを解除してください。

Q. 電話が繋がらない


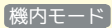
- A. 相手の電話番号を全桁ダイヤルしていますか。市外局番など、「0」で始まる相手の電話番号を全桁ダイヤルしてください。
- A. 電波状態が悪くありませんか。電波の届く場所に移動してかけ直してください。

! 緊急通報のご注意

ご利用可能なエリアについて

本機の緊急通報は、ソフトバンクのサービスエリア内でのみご利用になれます。

機内モードについて

機内モードを設定していると、緊急通報できません。（長押し） →  と操作して、設定を解除してください。

通話画面の見かた / 通話中の操作



- 1 相手の名前 / 電話番号
- 2 相手の写真
- 3 通話時間
- 4 HD Voiceで通話中¹

1 保留中にも表示されます。


+ 通話時の操作

受話音量を調節する



通話中に  / 


こちらの声を相手に聞こえないようにする

通話中に  （ミュート）


・解除するときは、 （ミュート解除）を押します。


スピーカーフォンをONにする

通話中に  （ON） → 



・OFFにするときは、 （OFF）を押します。

通話を保留する


通話中に 

・解除するときは、再度  を押します。








音声を録音する（通話音声メモ）

通話中に  （メニュー） → 

・録音を終了するときは、 （停止）を押します。

・通話中に  （サイドボタン）を長押ししても通話音声メモの録音を開始できます。

録音済みの通話音声メモを再生する

 →  →  →  → 
→  → 
（再生）

・途中で止めるときは、 （停止）を押します。

Bluetooth®対応のハンズフリー機器やヘッドセット機器と接続／解除する

通話中に **辞書** (メニュー) → **BluetoothON** / **BluetoothOFF**

・ Bluetooth®対応のハンズフリー機器やヘッドセット機器とペア設定しているときに利用できます。

発信／着信履歴画面を表示する

通話中に **辞書** (メニュー) → **履歴参照** → **発信履歴** / **着信履歴**

通話中の電話を保留にして、通話を追加する

通話中に **辞書** (メニュー) → **通話を追加**

通話追加中に通話相手を切り替える

通話中に **辞書** (メニュー) → **相手切替**

・ 通話相手以外は保留になります。
・ **切替** を押しても、通話相手を切り替えることができます。

通話追加中に保留中の通話を終了する

通話中に **辞書** (メニュー) → **保留中を切断**

通話追加中に通話相手との通話を終了する

通話中に **辞書** (メニュー) → **通話を終了**

通話追加中にすべての通話を終了する

通話中に **辞書** (メニュー) → **すべての通話を終了**

電話帳を確認する

通話中に **辞書** (メニュー) → **電話帳参照**

プロフィールを確認する

通話中に **辞書** (メニュー) → **プロフィール参照**

? こんなときは

Q. 通話しづらい

- A. 騒音がひどい場所では、正しく通話ができないことがあります。
- A. スピーカーフォン利用時は通話音量を確認してください。通話音量を上げると通話しづらくなる場合があります。

Q. 相手にこちらの音声が届かない

- A. 送話口／マイクを指などでふさいでいませんか。送話口／マイクはふさがないようにご注意ください。
- A. こちらの声をミュート（消音）にしていますか。ミュートにしているとこちらの音声が相手に届きません。

Q. 通話中に「プチッ」と音が入る

- A. 移動しながら通話していませんか。電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。故障ではありません。

VoLTEを利用する

VoLTE (Voice over LTE) とは、LTEを利用した音声通話システムです。従来の3G回線での音声通話と比べて、より高音質な通話や呼び出し音が鳴るまでの時間の短縮などが可能になります。

- ・ ソフトバンク／ワイモバイルのVoLTE対応機との間で利用できます。また、本機／相手機共に、SoftBank 4G LTE (FDD-LTE) サービスエリア内にあること、「4G (推奨)」および「4G 拡張モード」設定が有効であること、の両方を満たす必要があります。
- ・ VoLTE国際ローミングの対象国・地域については「サービスページ (<https://www.softbank.jp/mobile/service/global/overseas/volte/>)」を参照してください。

+ VoLTEを利用しないようにする

OK → **設定** → **その他** → **ネットワーク** → **モバイルネットワーク** → **4G 拡張モード** (表示)

・ **4G 拡張モード** と操作するたびに、有効 () / 無効 () が切り替わります。

! VoLTE利用時のご注意

VoLTEは4Gサービスを利用します。本機の4Gサービスが無効になっているときは、利用できません。VoLTEが利用できないときは、次の操作で4Gサービスが有効 (表示) になっているかどうかを確認してください。

OK → **設定** → **その他** → **ネットワーク** → **モバイルネットワーク** → **優先ネットワークタイプ**

・ 無効 () になっているときは、**4G (推奨)** と操作して有効 () にしてください。

HD Voiceを利用する

HD Voiceは、低音から高音まで幅広い範囲の音域に対応しており、より自然でクリアな音声通話が可能になります。

- ・ソフトバンク/ワイモバイルのHD Voice対応機との間で利用できます。
- ・HD Voiceは、VoLTEおよび3G回線に対応しています。VoLTEと組み合わせることで、さらに高い品質の音声通話が可能になります。

楽ともボタンで電話をかける

楽ともボタンを使うと、簡単に電話がかけられます。

- ・あらかじめ自宅やよく連絡を取る相手を、楽ともボタンに登録してください。

1

🏠 / ① / ② / ③



2

📞



📞 発信されます。

- ・ **電話する** と操作しても発信できます。
- ・ 相手が電話を受けると、通話できます。

3

通話を終わるときは、📞

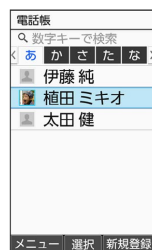


📞 通話が終了します。

電話帳から電話をかける

1

📞 ➔ 電話帳 ➔ 📞 / 📧 で索引を切り替え ➔ 連絡先を選択 ➔ OK



📞 連絡先詳細画面が表示されます。

2

電話番号を選択 ➔ 📞



📞 電話がかかります。相手が電話を受けると、通話ができます。

- ・ 電話番号を選択 ➔ OK (発信等) ➔ 発信 と操作しても、電話をかけられます。 **編集して発信** を選択すると、電話番号を編集して発信できます。

3

通話を終わるときは、📞

📞 通話が終了します。